学校番号	３０１

令和２年度　保健体育科

教科	保健体育	科目	体育	単位数	３単位	年次	３年次
使用教科書	現代高等保健体育　改訂版（大修館書店）						
副教材等	アクティブスポーツ　２０１８　「総合版」（大修館書店）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・各種目の中で、自己の能力に応じて基礎・基本的な運動技能・体力や筋力 UP を目指そう。
・自他の運動を観察し、興味・関心を高め、運動の楽しさ、喜び、達成感を味わおう。
・体育の授業を通して、生涯にわたって豊かなスポーツライフが送れる能力を身に着けよう。

２　学習の到達目標

運動の合理的、計画的な実践を通して、知識を深めるとともに技術を高め、運動の楽しさや喜びを深く味わうことができるようにし、自己の状況に応じて体力の向上を図る能力を育て、公正、協力、責任、参画などに対する意欲を高め、健康・安全を確保して、生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続する資質や能力を育てる。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断	c:運動の技能	d:知識・理解
観点の趣旨	運動の楽しさや喜びを深く味わうことができるよう、公正、協力、責任、参画などに対する意欲をもち、健康・安全を確保して学習に主体的に取り組もうとする。	生涯にわたる豊かなスポーツライフの実現を目指して、自己や仲間の課題に応じた運動を継続するための取り組み方を工夫している。また、自己や仲間の状況に応じて体力を高めるための運動を継続するための計画を工夫している。	運動の合理的な実践を通して、運動の特性に応じて勝敗を競ったり、攻防を展開したり、表現したりするための各領域の運動の特性に応じた段階的な技術を身に付けている。	運動の技術・技の名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、練習や発表の仕方、スポーツを行う際の健康・安全の確保の仕方についての具体的な方法、スポーツの歴史、文化的特性や現代スポーツの特徴、運動やスポーツの効果的な学習の仕方及び豊かなスポーツライフの設計の仕方を理解している。
評価方法	受講態度の観察 ノート レポート 等	ノート レポート 等	技能観察 ノート 等	ノート レポート 等

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	球技 ゴール型 (男子・女子) ベースボール型 (男子) ネット型 (女子) 水泳(女子)	ゴール型 ハンドボール フットサル(女子) バスケットボール サッカー(男子) ソフトボール ソフトバレーボール 水泳　背泳	○	○	○		ａゴール・ネット型 基本的技術に加えて協調性・リーダーシップにも視点を置く。競技の楽しさや喜びを味わうことができるよう、フェアプレイを大切にするなど生涯スポーツの観点も重要視する。 ｂベースボール型 ルールを理解し、基本技術の習得をする。みんなで楽しくゲームができるように貢献する。 ｃ水泳は事故防止に視点を置くことは基より、ゆったり大きく力感無く泳ぐことに視点を置く。	受講態度の観察 ノート レポート 技能観察
	体育理論 (男子・女子)	豊かなスポーツライフの設計				○	d:生涯スポーツの観点を理解している。	レポート 小テスト

2学期	水泳(男子) 球技　ゴール型 （男子） 球技　ネット型 （女子） 男女混合選択 ネット型 ベースボール型 ゴール型	水泳　背泳 ゴール型 バスケットボール ハンドボール フットサル （女子） ネット型 卓球 ソフトテニス ソフトバレーボール バドミントン ソフトボール サッカー	○	○	○	○	ａゴール型・ネット型基本的技術に加えて協調性・リーダーシップにも視点を置く。競技の楽しさや喜びを味わうことができるよう、フェアプレイを大切にするなど生涯スポーツの観点も重要視する。 ｂベースボール型ルールを理解し、基本技術の習得をする。みんなで楽しくゲームができるように貢献する。 ｃ水泳は事故防止に視点を置くことは基より、ゆったり大きく力感無く泳ぐことに視点を置く。 ｄ選択について上記に加えて練習計画の作成、グループノートへの記入の質量など真摯な姿勢も観点とする。	受講態度の観察 ノート レポート 技能観察
	体育理論 （男子･女子）	豊かなスポーツライフの設計				○	d:日本のスポーツ振興について理解している。	レポート 小テスト
3学期	男女混合選択）	2学期と同様	○	○			ａ選択についてここまで取り組んできたスポーツの特性を理解しながら、みんなで楽しく、喜びを味わいながらスポーツする姿勢がある。 ｂ上記に加えて練習計画の作成、グループノートへの質量など真摯な姿勢も観点とする。	受講態度の観察 ノート レポート 技能観察

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断
c:技能　　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について〇を付けている。